

お客様訪問シリーズ No.527

BCP対策として、停電時も稼働する 非常用発電機と消費電力の少ない GHPを採用

社会福祉法人聖心会 大崎太陽の村様
(宮城県大崎市)



脱炭素を考慮して重油炊きボイラーから LPガスで稼働する空調に入替え 停電発生時も入居者の生活を守る対策を

■ ご採用の経緯

- もともと重油炊きボイラーを熱源とする温水循環によるファンコイルユニット方式の暖房設備を採用していましたが、老朽化が進み配管の水漏れが多発するようになりました。
- 設備の入替を検討したところ、重油炊きボイラーは世の中の動きであるCO₂削減や脱炭素社会にそぐわないということと、災害発生時も福祉避難所としての機能を維持する必要があることから、停電時も非常用発電機が稼働し消費電力も少ない、LPガス採用のGHPを選択しました。
- GHPはメンテナンスが必要なため、今回保守契約も併せてお願いしました。定期的に機器の点検や部品交換を行うことで故障を予防し、性能を維持することで長く使用したいです。



GHPエグゼアⅢ20馬力2台、25馬力2台で更新。

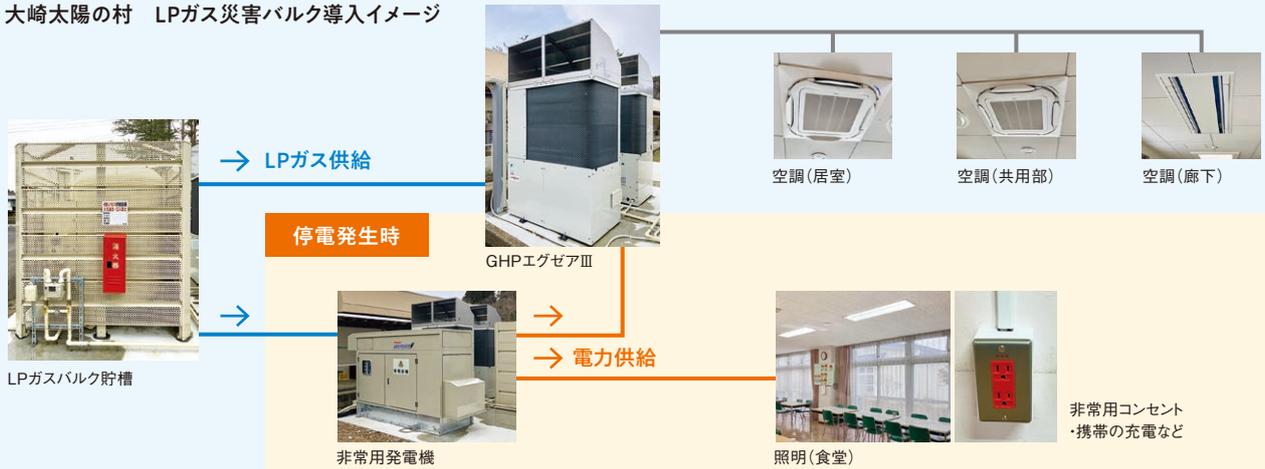
災害バルク
補助金適用



BCP対策の強化

災害で停電が発生しても空調と電源を確保して、
福祉避難所の機能を維持します。

大崎太陽の村 LPガス災害バルク導入イメージ



災害時でも暖かさ、明るさを届けたい。

東日本大震災の時は停電が長期化し寒さもこたえたため、空調の重要性を身をもって感じていました。

災害時でも空調+照明が使える

非常用発電機を導入したことで、**停電発生時でも冷暖房や照明を使用できるようになった**安心感は大きいです。



災害時に電源が確保できる

事務所、食堂、男子棟、女子棟に非常用コンセントを計6か所設置しました。**停電時もパソコンやスマートフォンで情報収集**できます。



利用者へのリスク軽減や管理者の管理負担軽減に配慮しました。



施設全体の温度差が少ない

今までは部屋によって空調の効きに差がありましたが、**更新後は温度ムラを感じなくなりました**。また、廊下に室内ユニットを設置し、浴室に行くまでの温度差が解消されました。



感染症対策の一貫として

空気清浄機の設置や換気扇による換気に加え、**共用部にUVストリーマ除菌ユニット**を設置しました。



リスクを抑えて管理もラクに

各居室の個別リモコンはロックし、ON/OFFコントローラーを導入しました。**入居者の誤操作防止と事務所から職員が一括で管理**できるため、省力化が図れました。

イワタニセントラル東北株式会社様 ご提案のポイント

- 大崎太陽の村様へは設備入替と併せて災害バルク補助金の活用をご提案させて頂きました。本補助金は「災害発生時に避難困難者が多数生じる施設に対して自衛的な燃料備蓄にかかる費用の一部を補助することで、施設のライフライン機能を維持させること」を目的としています。
- この度のご提案では補助金を活用しながら災害時のBCPに焦点を当て、避難所機能を強化することを意識し、停電時でも空調の他に照明や非常用コンセントによる電源確保を行うご提案をさせて頂きました。
- 今後もお客様負担を軽減しながら災害に強い分散型エネルギーであるLPガスの強みを活かしたご提案を続けて参ります。

搬入設備概要

空調設備： 室外ユニット GHP 90馬力(GXUKP560G 2台) (GXUKP710GA 2台)
室内ユニット ラウンドフロータイプ 20台、エコ・ダブルフロータイプ 4台
UVストリーマ除菌ユニット 5台

ダイキン工業株式会社

本 社 〒530-0001 大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス
東京支社 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー